



フェデレーション認証の準備をしよう

教育機関のためのチェックリスト

フェデレーション認証を利用すると、みなさんの学校で既に使用しているシステム環境にiPadやMacをより簡単に統合することができます。

Microsoft Azure Active Directoryを利用している教育機関の皆さんは、簡単にApple School Manager への直接接続を設定して、ユーザーにAppleの各種サービスを提供することができます。また、Apple School Managerにクラス名簿のCSVファイルをアップロードすれば、スクールワーク、クラスルーム、共有iPadですぐに利用できるようになります。

次のチェックリストを使って準備を始めましょう。

Active Directoryの準備
portal.azure.comにサインインし、みなさんの学校でMicrosoft Azure Active Directory (Azure AD) を利用しているかどうか確認します。
現在オンプレミスでActive Directoryを使用している場合は、Azure ADと同期することができます。 Azure AD Connectでフェデレーションサービスを管理する方法をご確認ください。
フェデレーションで使うドメインを決定し、使用しているAzure ADテナントに追加します。Azure ADにドメインを追加する方法を参照してください。
Apple School Managerの準備
フェデレーション認証を使い始める際には、連携するドメインのすべてのApple IDをApple School Managerの管理下に置く必要が あります。この準備は組織内のIT関連アカウントに影響することがあります。
所属組織をApple School Managerに登録するか、Apple School Managerにアップグレードします。
Volume Purchase Program(VPP)からApple School Managerの「Appとブック」に移行します。VPP購入担当者を全員、Apple School Managerで管理している組織に追加していることを確認します。
Apple School Managerで、各VPP購入担当者の場所を選択します。
Appleプッシュ通知サービス(APNS)やApple Developer Programなどのサービスを利用するために設定したIT関連の個人用Apple IDをすべてピックアップします。このApple IDに対しては、後の手順で新しいユーザー名を選択する必要があります。
(オプション) Apple School ManagerにCSVファイルをアップロードすることで、スクールワーク、クラスルーム、共有iPadで、クラス 名簿を利用できるようにします。 Apple School Managerは、CSVで指定されたEメールアドレスを使ってAzure ADのユーザーの 照合を行います。 Apple School ManagerでSFTP (Secure File Transfer Protocol) を使う場合についてご確認ください。

フェデレーション認証に向けた準備 | 2019年3月

フェデレーションの開始

Azure ADとApple School Managerの準備が完了すると、所属組織のフェデレーションを始めることができます。
□ Apple School Managerにログインし、フェデレーション連携するドメインを追加します。
Apple School ManagerでAzure ADとの接続を設定します。この時、Azure ADでグローバル管理者またはアプリケーション管理者アカウントを使う必要があります。
□ Apple School Managerは、追加したドメインを使用している個人用Apple IDを検出すると、そのユーザーに通知を送り、Apple IDの Eメールアドレスを変更する必要があることを知らせます。これまで購入したものやデータは、ユーザーの個人用Apple IDに関連付けられたままになります。 さらに詳しく。
図表の管理対象Apple IDがある場合は、フェデレーション連携するドメインとユーザー名に一致するようにApple IDの情報を変更することで、フェデレーション認証用のIDに移行することができます。さらに詳しく。
── 先ほど検出したIT関連の個人用Apple IDのすべてに対し、新しいユーザー名を選択します。
その他のリソース
□ Apple School Managerのフェデレーションについてさらに詳しく。
Azure Active Directoryについてさらに詳しく。